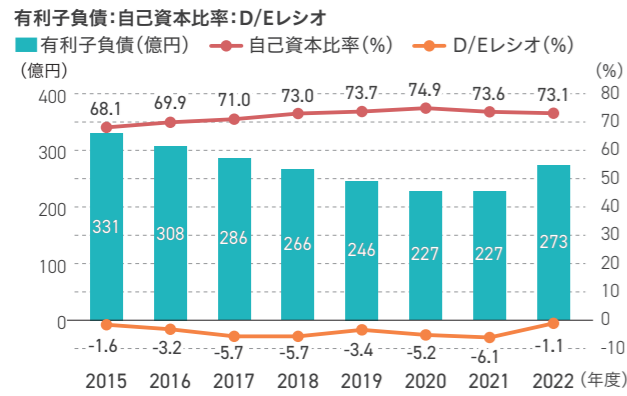


## 財務資本

### 財務体質

財務資本は事業活動を行ううえで不可欠です。当社は自己資本と有利子負債のバランスに配慮し、極めて堅固な財務基盤を築いています。自己資本比率は上昇傾向にあり、有利子負債残高は減少傾向にあります。その結果、企業の健全性をはかる指標の一つであるD/Eレシオは低値を維持しています（低いほど健全とされる）。キャッシュフローは非常に恵まれた状態にあり、投資や株主還元などに、必要に応じて引き続き活用できる状況にあります。



## 製造資本

国内5県に広がる本体工場には、化学遺産に認定された石造りの設備が残っている一方で、最新鋭の機器・設備が着々と導入され続けています。130年以上の歴史を積み重ねながら、今もなお進化を続け、製品の安定生産に努めています。

### ●袖ヶ浦工場 (千葉県)

千葉県の石油コンビナート地区に位置し、スペシャリティケミカルズの中核工場として、最先端の情報電子産業をはじめ幅広い産業分野で使用される無機材料および電子材料を生産。研究所と緊密に連携した「開発型工場」です。

### ●埼玉工場 (埼玉県)

埼玉県北西部の自然豊かな環境にあり、水稲用除草剤および殺虫剤・殺菌剤を生産し、国内をはじめ世界の農業に貢献している工場です。

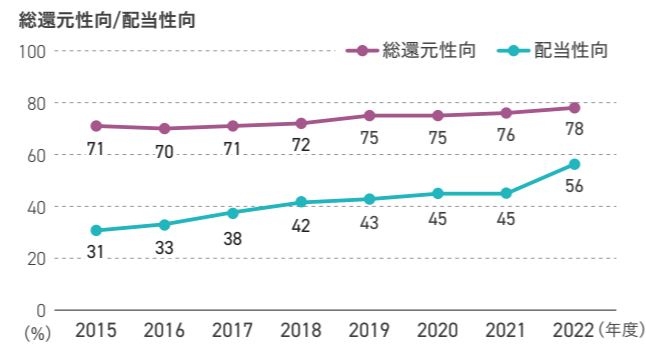
### ●富山工場 (富山県)

富山県中央部に位置し、豊富な水と電力を背景に、日本

◎関連情報：「CFOメッセージ」P49-52、「財務情報」P85-92

### 株主還元

企業の収益力を示すROEを重要視し、株主資本を最大限に活用することを目指しています。2011年度に9.5%を記録して以降右肩上がり続けており、2022年度は19.4%でした。配当性向は、2015年度の30.7%から段階的に引き上げ、2022年度実績は56.3%でした。また、株主総還元性向は、2015年度以降は70%台で推移しており、高水準にあります。配当と自己株式取得を合わせた株主の皆様への積極的な利益還元の姿勢が、長期資金を呼び込み、株主資本の充実に寄与しています。



◎関連情報：「会社情報」P93-96

有数のアンモニア総合化学工場として発展。現在でも多くの誘導品の製造をしています。また、近年では電子材料分野へも進出し、世界の半導体産業・IT技術の進歩に大きく貢献しています。研究所も併設しており、次世代に向けた迅速な対応が可能な工場です。

### ●名古屋工場 (愛知県)

名古屋港に面し、硫酸の製造を中心に発展し、時代のニーズに対応して工業用から半導体洗浄用高品位グレードまで製品展開を図ってきました。現在は、精製硫酸、高純度硫酸をはじめ、重亜硫酸ソーダ、ディーゼル車排ガス浄化用高品位尿素水「アドブルー®」を生産しています。

### ●小野田工場 (山口県)

山口県の南西部に位置し、1910年に日本で初めて農薬を製造した130年以上の歴史を有する工場です。現在は、殺虫剤・殺ダニ剤・除草剤などの農薬や動物薬、高脂血症治療薬などの医薬、有機ファインケミカル製品を生産しています。

## 社会関係資本

投資家や地域社会、NPO/NGOなどの多様なステークホルダーと長期にわたり培ってきた信頼関係は、事業活動を支える基礎となっています。当社グループの拠点を社会貢献の基盤として、「教育・学術・文化の振興」「地域貢献」「地球環境保護」「健康福祉の増進とスポーツ振興」の4つに重点を置き、企業市民としてさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。

### 地域住民との交流

工場では、地域住民・近隣学校を対象とした工場見学会や説明会を継続的に実施しています。とくに、防災や環境

Web  
「地域社会への貢献」  
[https://www.nissanchem.co.jp/csr\\_info/communication/community.html](https://www.nissanchem.co.jp/csr_info/communication/community.html)  
「生物多様性への取り組み」  
[https://www.nissanchem.co.jp/csr\\_info/responsible\\_care/conservation.html](https://www.nissanchem.co.jp/csr_info/responsible_care/conservation.html)

## 自然資本

製品を製造するうえで、エネルギー・水・原料の利用や、温室効果ガス (GHG) 排出などの環境負荷を避けることは困難です。当社グループでは、「レスポンシブル・ケア活動の継続的強化」をマテリアリティの1つとしています。気候変動の緩和や、産業廃棄物・汚染物質の排出削減などをマテリアリティ要素として特定し、「環境・健康・安全」に配慮するレスポンシブル・ケア活動を通じて、環境負荷低減に努めています。

### GHG排出量削減の取り組み

富山工場、小野田工場では、アンモニアの原燃料であるナフサや、ボイラー燃料である重油を天然ガスに転換し、CO<sub>2</sub>の排出量を大幅に削減しています。これまで行ってきた低炭素投資や製品特性により、当社は化学業界において炭素効率性 (GHG排出量原単位) が相対的に良い状況です。

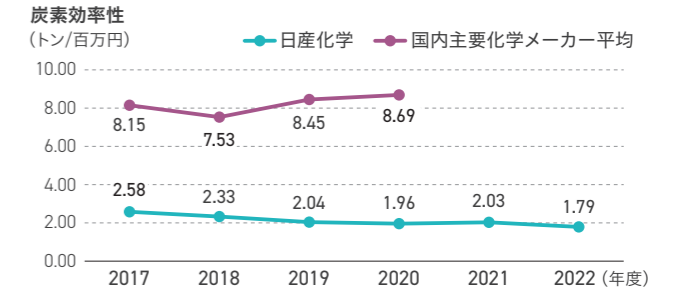
Web  
「レスポンシブル・ケアマネジメント」  
[https://www.nissanchem.co.jp/csr\\_info/responsible\\_care/management.html](https://www.nissanchem.co.jp/csr_info/responsible_care/management.html)  
「気候変動の緩和」  
[https://www.nissanchem.co.jp/csr\\_info/responsible\\_care/environment/reduction.html](https://www.nissanchem.co.jp/csr_info/responsible_care/environment/reduction.html)  
「産業廃棄物・汚染物質の排出削減」  
[https://www.nissanchem.co.jp/csr\\_info/responsible\\_care/environment/management.html](https://www.nissanchem.co.jp/csr_info/responsible_care/environment/management.html)  
「化学物質の管理」  
[https://www.nissanchem.co.jp/csr\\_info/responsible\\_care/chemical.html](https://www.nissanchem.co.jp/csr_info/responsible_care/chemical.html)  
「水資源の保全」  
[https://www.nissanchem.co.jp/csr\\_info/responsible\\_care/environment/effective.html](https://www.nissanchem.co.jp/csr_info/responsible_care/environment/effective.html)  
「生物多様性への取り組み」  
[https://www.nissanchem.co.jp/csr\\_info/responsible\\_care/conservation.html](https://www.nissanchem.co.jp/csr_info/responsible_care/conservation.html)

への取り組みを説明し、安心安全な工場であることへの理解の確保に努めています。このほか、工場周辺の公共道路や駅の清掃、地域住民との共同による花の植栽など、地域の美化活動に参加しています。2022年度は、当社が所在する東京都中央区の公園にて、清掃や、昆虫の蜜源植物の保全などの活動を開始しました。



保全活動の様子

◎関連情報：「レスポンシブル・ケア」P73-75



### エネルギー使用量削減に向けた取り組み (物流部門)

当社は荷主として、物流を取り扱うグループ会社の日産物流 (株) と一体となって輸送に伴うエネルギー使用の合理化を進めています。

2018年にエコレールマーク認定を取得しており、引き続き、モーダルシフトの推進、省エネ車両への更新、エコドライブの推進などによりエネルギー原単位改善に努めています。

